

授業科目

社会病理学

担当教員名 寺田 貴美代	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	◎

授業の概要

社会病理学では、さまざまな社会問題（児童虐待や高齢者虐待、ドメスティック・バイオレンス、貧困、自殺、ジェンダー問題など）について、社会的要因に着目して研究する。特に本講義では、近年注目されているこれらの社会問題の背景や実態を学び、社会福祉の知識と結びつけながら、問題の解決に向けた方向性を探る。さらに、グループワーク等を通して、これらの問題への理解を深める。

授業の目的

児童虐待や高齢者虐待、ドメスティック・バイオレンス、貧困、自殺、ジェンダー問題など、近年の社会問題の実態や背景について考察する。また、学生自らが社会問題に関心を持ち、他の学生とコミュニケーションを図りながら問題意識を高めることを目指す。

学習目標

1. 社会福祉分野に関する社会問題を理解し、考察する
2. 社会福祉の専門的な知識に根差した思考力や判断力を身につける
3. 社会問題や福祉社会の動向に関心を持ち、現代社会における課題をとらえる
4. さまざまな問題を抱える人々の多様な生き方や個性などについて理解する
5. 社会問題に対して自分なりの意見を持ち、他者との意見交換を行う

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、社会病理学の基礎的理解	講義	寺田 貴美代
2	DV（ドメスティック・バイオレンス）の問題を考える	講義	寺田 貴美代
3	児童虐待や世代間連鎖の問題を考える	講義	寺田 貴美代
4	子どもの貧困や低所得者の問題を考える	講義	寺田 貴美代
5	外国人支援に関する問題を考える	講義	寺田 貴美代
6	高齢者介護や高齢者虐待について考える	講義	寺田 貴美代
7	自殺問題や自殺対策について考える	講義	寺田 貴美代
8	多様なライフスタイルやジェンダーの問題を考える	講義	寺田 貴美代
9	現代のストレス問題やその対応について考える	講義	寺田 貴美代
10	非行問題について考える	講義	寺田 貴美代
11	社会的弱者について考える	講義	寺田 貴美代
12	社会問題に関する討議1：KJ法	ディスカッション	寺田 貴美代
13	社会問題に関する討議2：マトリックス法	ディスカッション	寺田 貴美代
14	社会問題に関する討議3：価値観交流学习	ディスカッション	寺田 貴美代
15	総括	講義	寺田 貴美代

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定しません。毎回、プリントを配布するため、この授業専用のファイルを用意してください。					
参考書	適宜、授業中に資料を紹介し、授業を通して関心を持ったテーマについては、積極的に情報収集を行い、テーマを深く掘り下げてほしいと思います。					
その他の資料						

評価方法

1.授業内報告および課題の提出内容と、2.授業への参加度の、2点に基づいて成績を評価します。1.授業内報告と課題の提出内容とは、授

業のテーマに関連した報告および、授業内容を踏まえて受講者が考えたことを記述する小レポートの提出内容による評価です。2.授業への参加度とは、グループワークにおける発言や仲間との意見交換（ディスカッション）および、授業後に行う振り返りシートによる評価です。

履修上の留意点

講義を一方向的に聞くのではなく、講義と併せてグループワークも実施し、他の学生と意見交換をする機会を設けます。そのため、授業へ積極的に参加し、主体的に学ぶ姿勢が必要です。本授業は選択科目であるため、選択する際はこの点をよく検討の上、履修登録をするよう注意してください。

オフィスアワー・連絡先

前期 木曜日 12時30分～14時30分

後期 木曜日 12時30分～14時30分

場所：E315研究室

E-mail：terada@nuhw.ac.jp

※メール送付時は、メールのタイトルと本文の両方に、学籍番号と名前を必ず記載してください。